

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 380

政策体系	22	事業分類	施設管理費	所管部局	農林商工部 農政課
会計	一般会計	科目	6.農林水 - 1.農業費 - 2.農業総 現年		
事業名	農業関連施設等管理費				
細事業名	八木バイオエコロジーセンター事業				
評価表作成者				農林商工部 農政課	寺田 利裕

1. 事業の概要

南丹市八木農村環境公園及び南丹市八木バイオエコロジーセンターの施設管理を委託により行う。施設管理に伴い必要な改修等を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

資源が循環するまちをつくる事業。
施設の管理を委託することにより、安心・安全な地域特産物加工販売及び農業体験を通じた環境学習の場を提供し市民の理解の醸成をすること。また、廃棄物を出さない社会システムに関心を持って市民生活及び事業活動を行う。

② 事業を実施する必要性

安心・安全な地域特産物加工販売及び農業体験を通じた環境学習の場を提供し市民の理解の醸成をすることため、また、廃棄物を出さない社会システムに関心を持って市民生活及び事業活動を行うために本事業が必要不可欠である。また、適正な施設管理を行うため、施設の改修等を行う。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	54,256	44,251	43,314	37,438	35,896	35,896	35,896
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円		1,827	0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0	0
	一般財源	千円		41,487	37,438	35,896	35,896	35,896
職員等の従事人員	人/年	—			0.27			
人件費	千円	—			1,621			
事業費総額	千円	—			39,060			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

南丹市八木農村環境公園指定管理料 17,829,000円（委託料）
南丹市八木バイオエコロジーセンター指定管理料 18,067,000円（委託料）
八木バイオエコロジーセンター3号発電機修繕工事 1,542,450円（工事請負費）

5. 事業結果の概要

南丹市八木農村環境公園施設の指定管理
南丹市八木バイオエコロジーセンター施設の指定管理
ガスエンジン発電機修繕1基

6. 活動の詳細

(1) 八木農村環境公園施設管理		
ホール、会議室、和室、ホワイエ、農食館管理	4～3月	施設来園者4,181人、野菜市利用者2,047人
(2) 八木農村環境公園体験受入		
農食館体験、草木工房体験、ダチョウふれあい体験、農業体験	4～3月	利用のべ1,626人
(3) バイオエコロジーセンター施設管理		
家畜排せつ物、食品廃棄物受け入れ	4～3月	家畜排せつ物28,471t、食品廃棄物2,779t
堆肥製造販売、液肥散布、発電、売電	4～3月	堆肥販売5,815t、液肥販売2,215t、発電845,697kWh、売電260,233kWh
(4) バイオエコロジーセンター視察対応		
市町村議会、行政機関等視察受入れ対応	4～3月	約500人
(5) 学校給食事業		
小学校5校へ配送・配膳	10～3月	103回
(6) 施設修繕		
八木バイオエコロジーセンター3号発電機修繕	1～2月	1基

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

農村環境公園の運営について、農食館（レストラン）の運営を事業から切り離すことにより、運営経費の軽減を図ることができた。氷室の郷10周年記念感謝祭等のイベントの実施により都市住民との交流の場とすることができた。今後、田園ホール等の貸館業務の利用促進を図る必要がある。

バイオエコロジーセンター循環型農業の普及活動を推進することが出来た。今後も液肥利用を中心に循環型農業の受益地の拡大を推進することが必要である。

平成21年度～平成23年度まで指定管理者として(財)八木町農業公社が施設の管理運営を行う。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

安心安全な食材供給及び農業体験を通じた環境学習の実践及び液肥・堆肥の利用促進を図るために有効である。平成21年度～平成23年度まで指定管理者として(財)八木町農業公社を選考している。

■平成21年度の所属長評価